

実践検討部会 概要

部 会 名	令和2年度アセットマネジメント実践検討部会（グループA）
開 催 日 時	令和3年2月25日（木） 9：30～12：00
開 催 場 所	企画財政部会議室（Web会議）
出 席 者	<p>【部会委員】 川越市、熊谷市、鴻巣市、戸田市、桶川市、北本市、富士見市、日高市（8市）</p> <p>【有識者】 有限責任監査法人 トーマツ アドバイザー パートナー 宗和 暢之氏(講演)</p> <p>【事務局】 埼玉県市町村課</p> <p style="text-align: right;">計 14名</p>
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 外部有識者による講演 4 取組状況の発表 5 意見交換 6 閉会
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・出席者名簿 ・個別施設計画の運用及び総合管理計画の改訂に向けた取組状況について ・意見交換テーマ一覧表
意 見 交 換	<p>①個別施設計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個別施設計画には必要な工事金額の全てを記載したか、又は予算ベースで記載したか <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定した工事ができなかった際に関係者や住民への説明が困難である点から予算ベースでの策定を検討している ・ 個別施設計画には必要な工事金額を記載し、施設所管課の予算要求時にアセット担当課が同席する等の対応を取っている。 <p>【有識者から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別施設計画と予算の関連については乗り越えなければならないハードルである。 ・ 記載する金額については100%必要額や予算額にせず、財政担当課と調整し折衷していくやり方や、ローリングして少しずつ落としつつ落としていったりする等の対応が必要になる。 <p>②総合管理計画の改訂について</p>

- 単純更新した場合の見込みについてどのように算出するか
- 維持管理・修繕費用についてもどのように算出するか

【主な意見】

- ・ 更新費用については、国土交通省の単価表、財団法人自治総合センターの単価を使用している。
- ・ 維持管理・修繕費用については、維持管理の過去数年の実績から平均値を算出している団体が多い。

【有識者から】

- ・ 単純更新の費用については架空の世界になるのである程度ラフに算出してもよいと考える。
- ・ 維持管理費については、長期的な視点に立って考えるべきであり、短期的なものは記載しても意味はないと考える。

③施設の廃止について

- 保養施設を廃止した際の事例や代替事業について

【主な意見】

- ・ 施設の老朽化が著しく進行しており、利用者も少ないため廃止した例がある。
- ・ 類似施設を廃止した際には、該当施設の目的を考慮して代替事業を実施している団体もある。
- ・ 廃止した理由の中には、時代のニーズにそぐわないためといったものもあった。
- ・ 稼働率が低ければ代替事業の必要性も少ないと意見もあった。

【有識者から】

- ・ 総合管理計画の見直しを実施する際には、廃止する対象施設の洗い出しなども行う。
- ・ 意見にも出たように、廃止する対象施設の目的や、施設の稼働率などから検討していくのがよいのではないかと。

④施設の居ながら改修について

- 居ながら改修の事例について

【主な意見】

- ・ 参加団体の中に居ながら改修を実施した事例はなかった。
- ・ 居ながら改修と仮設施設を比較して仮設を選択した意見もあった。

【有識者から】

- ・ 居ながら改修は通常の工事と比較すると、工事期間が長く費用も大きくかかってしまうため、ハードルが高くなっている。